

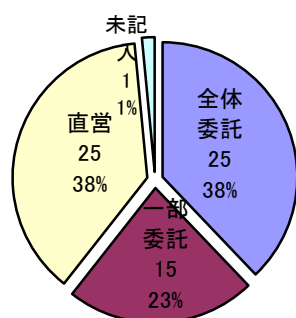
栄養管理報告書集計結果(介護老人保健施設・高齢者福祉施設・社会福祉施設)

I 施設状況

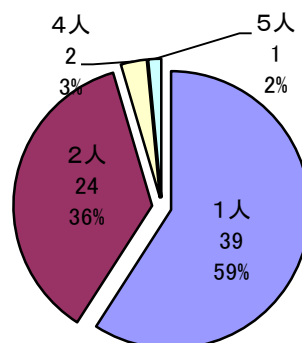
1 施設数

県全体	新川	中部	高岡	砺波
66	11	9	30	16

2 運営状況



3 施設に所属する管理栄養士・栄養士数*



*「管理栄養士+栄養士」の数
委託業者所属の数は含まない。

II 運営状況・栄養管理状況

1 栄養管理等の状況

図1-栄養アセスメントについて

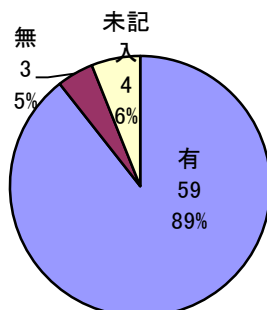


図2-栄養ケアマネジメントについて

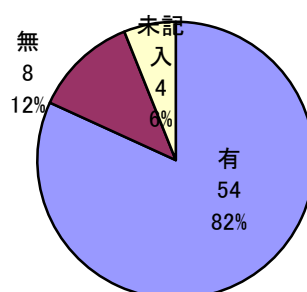
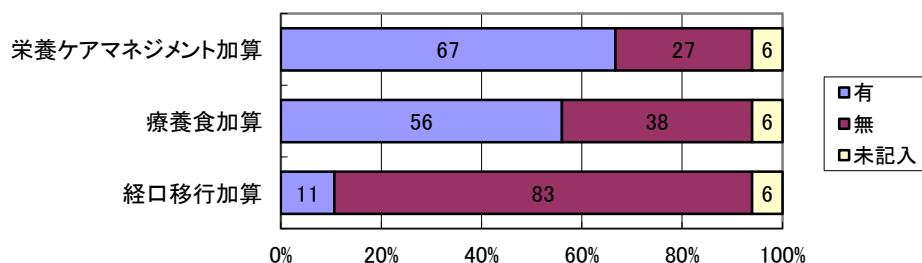


図3-加算等について



- ・ 栄養アセスメントは89%の施設で実施されていた。
- ・ 栄養ケアマネジメントは82%の施設で実施されていた。
- ・ 栄養ケアマネジメント加算を算定している施設は67%、療養食加算を算定している施設は56%であった。
- ・ 経口移行加算を算定している施設は11%であった。

2 栄養管理等状況

図4－野菜量(g) ※数値は実施(提供)量

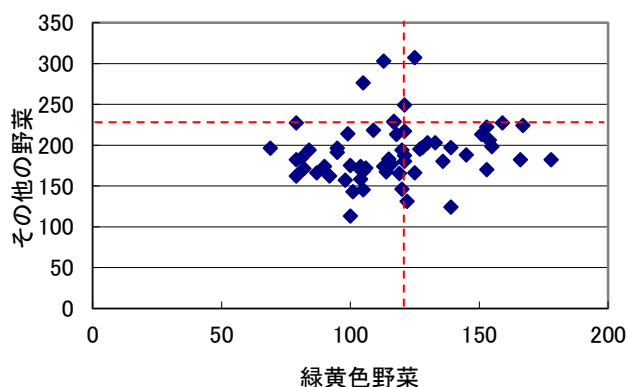
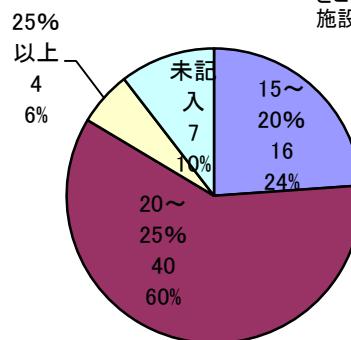
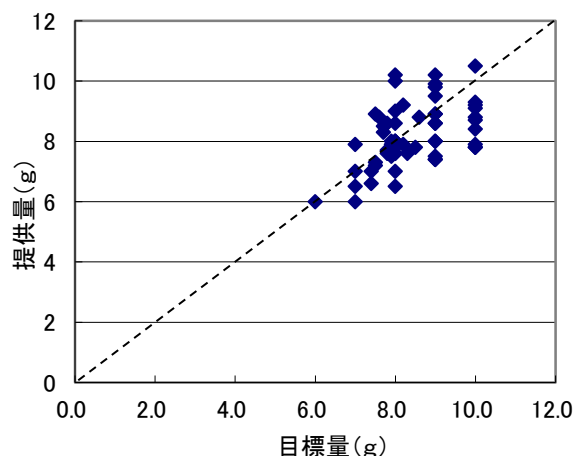


図5－脂肪エネルギー(%) ※ユニットで別算出のところがあるため、施設数とは一致しない



- ・ 野菜提供量について、健常人の目標とされる350g(緑黄色野菜120g以上、その他の野菜230g以上)に照らし、不足している施設があった。
- ・ 脂質エネルギー率は、目標値である20~25%の範囲の施設が全体の60%であったが、20%未満の施設もあった。

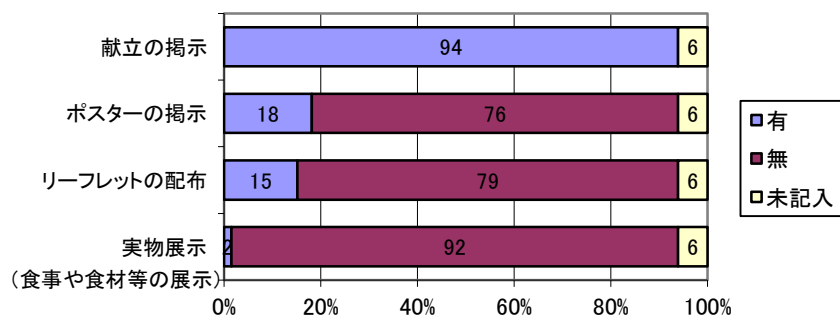
図6－食塩量(g) ※提供量は実施量として報告された値



- ・ 食塩摂取目標量が8gを超えた値を設定していた施設は61%であった。
- ・ 食塩提供量(g)が設定された目標量を上回る施設は29%であった。

3 栄養情報の提供

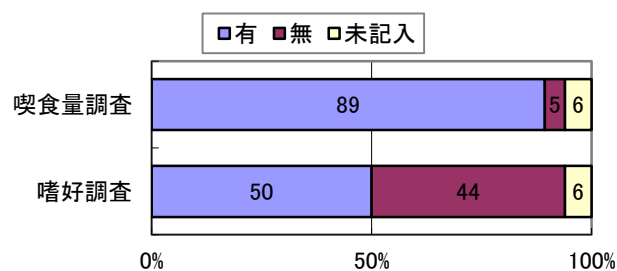
図7－栄養情報の提供



- ・ 献立の掲示は回答施設の100%の施設で実施されていた。そのうち、献立に栄養価が記載されている施設は76%であった。
- ・ 栄養情報の提供について、最も多かったのはポスターの掲示で18%であった。

4 給食提供の評価

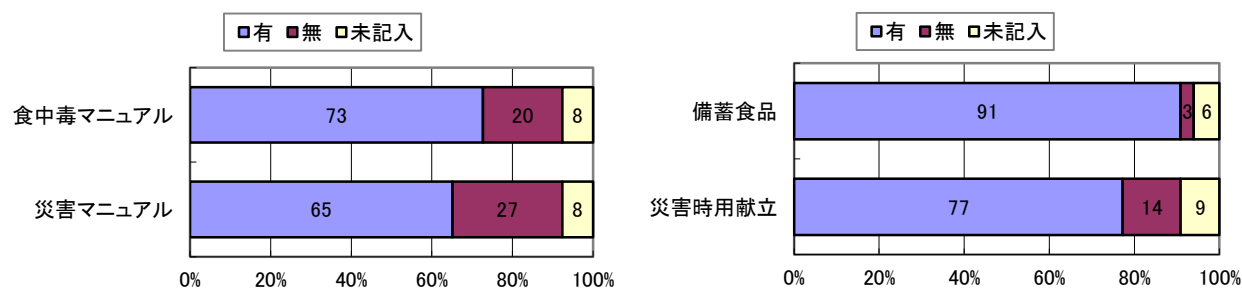
図8－給食の評価



- ・ 喫食量調査は89%の施設で実施されていた。
- ・ 嗜好調査は50%の施設で実施されていた。

5 健康危機管理体制について

図9－健康危機管理体制



- ・ 食中毒マニュアルと災害マニュアルでは、食中毒マニュアルを有する施設の方が多かった。いずれのマニュアルも有しない施設は6施設であった。
- ・ 備蓄食品は91%の施設で有していた。一方、有していない施設は3% (2施設) あった。また、備蓄食品の保有日数は全体の42%の施設で3日分であった (3日分以上所有する施設は無)。
- ・ 災害時用献立を有する施設は77%であった (備蓄食品を有する施設の85%が献立を有する)。